

# 財政の現状

## 1 歳入歳出決算の状況(普通会計)

普通会計の歳入決算額は、平成元年度(1989年度)の約268億円から増加傾向を示し、平成13年度(2001年度)にはピークとなる約457億円へと、約1.7倍の規模になりました。その後、減少傾向となり、前期基本計画がスタートした平成16年度(2004年度)には約391億円となりました。

前期基本計画中は景気の低迷や人口の横ばい傾向もあり概ね380億～390億円程度で推移しています。

歳入では、根幹をなす市税と地方交付税で見ると、平成11年度(1999年度)に初めて地方交付税が市税収入額を上回りましたが、三位一体の改革による税源移譲と交付税改革などにより、近年は市税の横ばい傾向と、地方交付税の減少傾向が続いています。今後とも社会経済情勢や制度改正に大きく影響を受けるものと考えられます。

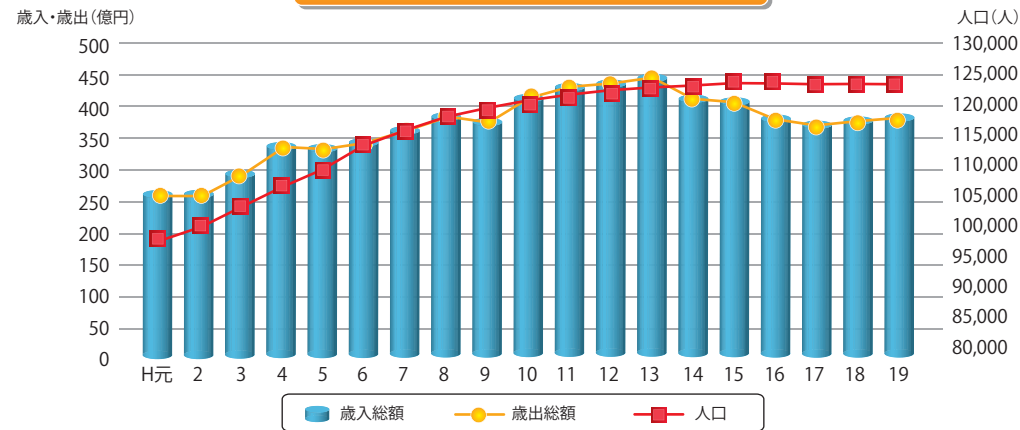
歳出では、平成19年度(2007年度)においては義務的経費(人件費・扶助費・公債費)が47.6%を占め、一方、投資的経費である普通建設事業費(道路・公園・学校・市営住宅などの建設に要した経費)は6.9%を占めるにすぎない状況です。

また、平成19年度(2007年度)末の市債残高は、道路・市営住宅・学校等の基盤整備の結果、歳出規模とほぼ同程度の約400億円になっていますが、平成15年度(2003年度)の482億円をピークに減少傾向となっています。

財政健全化の動向をみる財政諸係数では、「実質公債費比率」(注5)は、平成17年度(2005年度)は、17.9%であったものが、平成19年度(2007年度)は14.6%と低下しており、今後もこの傾向は続くものと考えられます。

今後は、引き続き経済の低成長が予測され、財政状況の悪化が見込まれることから、「江別市行政改革大綱」(平成17年度(2005年度)制定)(注6)に基づく財政規律の維持と行財政改革の推進が必要です。

歳入歳出決算と人口の推移(普通会計)



用語解説

- 注5 実質公債費比率  
自治体の標準的な税収と地方交付税を合わせた収入に対する実質的な借金返済の割合を示す指標。18%以上になると、地方債発行に国や都道府県の許可が必要になり、25%以上になると、独自事業の起債が制限される。さらに35%以上になると、一部の一般公共事業向けの起債が制限され、財政再生団体に指定される。
- 注6 江別市行政改革大綱  
平成18年3月制定。時代の変化に的確に対応するため、江別市が目指す行政改革(行政機関において、組織の統廃合、事務の効率化などを目的とする改革)のあらましをまとめたもの。

## 2 企業会計的財政分析

### ① 公会計における貸借対照表(バランスシート)(注7)の分析

江別市では公会計への企業会計的手法が必要と考え、平成11年度(1999年度)より独自方式の貸借対照表(バランスシート)を作成してきました。その後、平成13年(2001年3月)には総務省(当時の自治省)から統一の考え方が示された(地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書)ことから、他市とのデータの整合性、比較の容易さなどを勘案して報告書に準じた貸借対照表を作成、公表しています。

貸借対照表の資産総額をみると、平成16年度(2004年度)には1,358億円であったものが、平成19年度(2007年度)には1,291億円と約4.9%減少しています。これは、近年の投資的経費の減少や減価償却が進んだことから有形固定資産が減少したことによるものです。

また、民間企業でいうところの自己資本である正味資産は概ね横ばいであり、正味資産比率(自己資本比率)は59.6%から62.0%へ向上しています。

### ② 貸借対照表(バランスシート)の経年変化

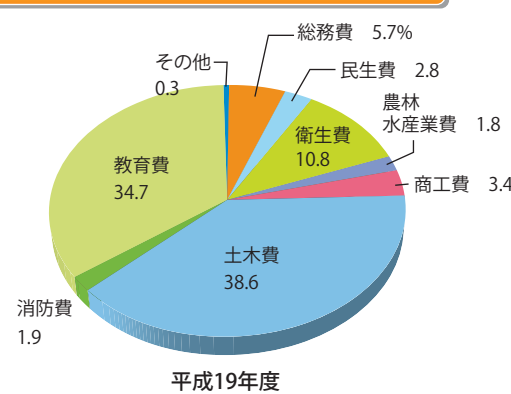
【借方】項目別内訳

単位:億円、%								
区分	H16	比率	H17	比率	H18	比率	H19	比率
有形固定資産	1,141	84.0	1,112	83.2	1,093	82.6	1,064	82.4
投資等	155	11.4	159	11.9	161	12.2	164	12.7
流動資産	62	4.6	65	4.9	69	5.2	63	4.9
計	1,358	100	1,336	100	1,323	100	1,291	100

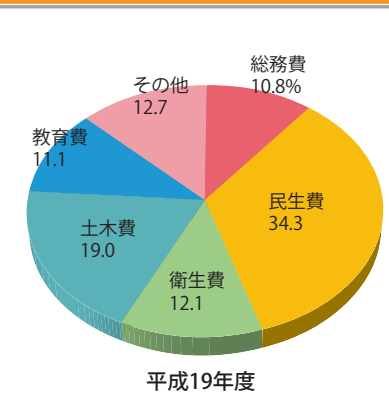
【貸方】項目別内訳

単位:億円、%								
区分	H16	比率	H17	比率	H18	比率	H19	比率
固定負債	503	37.0	483	36.1	464	35.1	447	34.6
流動負債	45	3.3	46	3.4	45	3.4	44	3.4
正味資産	810	59.7	807	60.5	814	61.5	800	62.0
計	1,358	100	1,336	100	1,323	100	1,291	100

【貸借対照表】有形固定資産内訳



【行政コスト計算書】(注8)項目別内訳



用語解説

- 注7 公会計における貸借対照表(バランスシート)  
企業会計における貸借対照表の考え方を市町村などの公会計に導入したもの。公会計では、企業における貸借対照表と同じように、左側に施設などの「資産」を、右側にその「資産」を作るための市債の残高などを将来負担すべき「負債」をまとめている。
- 注8 行政コスト計算書  
企業会計における損益計算書と同等のもの。